

ものづくりに、感動と独創性を。

Corporate Guide

さあ、もっと乗りたい空間へ。

N NANJO

南条装備工業株式会社
NANJO Auto Interior Co., Ltd.



世界のマツダとともに培ってきた
「夢あるモノづくり」の力を基盤に、
人々に感動を届けます。

自動車内装部品の開発・製造を手掛ける南条装備工業。マツダ車のドアトリム領域でのシェアは90%以上を誇ります。信頼関係を築いてこられた理由は、他社には真似のできない独自の技術と工法、それにデザイン力。「モノづくりへの情熱」を原動力に、国内はもとより、メキシコ、フィリピン、中国に進出。生産力の向上を図りながら、さらなる技術の革新に挑戦していきます。

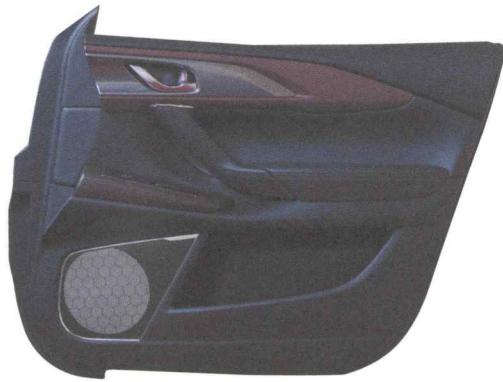
Products

製品紹介

Door Trim

ドアトリム

マツダ主要車種のドア内装部品です。プラスチックを低圧で射出する南条装備工業独自のNPM成形技術により、軽量化やデザイン性、ソフトな手触り感を実現。快適な車内空間を生み出します。



Seat Trim

シートトリム

アクセラ、ロードスターなどマツダ主要車種のシートカバーの縫製品です。高精度な自動裁断機の導入や熟練された縫製技術により、本革、合成皮革、ファブリックなど素材に関わらず、高品質な製品を提供しています。



Module Carrier

モジュールキャリア

ガラス繊維を混入したPP樹脂の成形により高剛性を実現。ドアインナーパネルとして利用され、部品の組付けを簡素化するだけでなく、独自のシーリング技術を採用。大幅な軽量化と部品点数の削減にも役立っています。



Others

その他の部品にも南条装備工業独自の技術が使用されています。

その他



シフトパネル



シートバックトリム



センターコンソールリッド

挑戦を、あきらめない。

過去の常識に捉われない自由な発想力。
決められた作業を正確にこなすだけでなく、
これまでにないものを生み出していきたいという
エンジニア一人ひとりの情熱が、南条装備工業の技術力を支えています。
積み重ねた技術から今までにない技術を生み、
お客様に新しい価値を提案するために。
これからの社会を見据えた「モノづくりへの情熱」を軸に
私たちは全力で取り組んでいます。

さあ、もっと乗りたい空間へ。

NANJO

ユーザーが喜んでる姿を想像するとワクワクします。

以前から、モノづくりに携わる仕事に就きたいと思っていました。会社説明会で誘われた工場見学では、自分が学んだ高分子を使って成形する知識が生かせそうでしたし、イキイキとした職場の雰囲気自分に合うと直感。開発系の仕事に魅力を感じ、入社を決意しました。研修期間中は慣れない仕事で上手くできなかったり、独りよがりの判断で失敗したりすることもありましたが、その経験が成長につながったと思います。機能開発チームは2017年に新設されました。8人のメンバーのうち、2~3人が1つの項目に携わり、壁に突き当たったときも途中で断念しない限りは周りが手助けしてくれるので心強いですね。モノづくりを一番実感できるのは、外部の成形専門の施設に向いて試作している時です。当社は「挑戦」「スピード」「コミュニケーション」に重きを置いていることから、積極的にチャレンジし、上司や先輩に気兼ねなく相談することができます。目標は、自分が開発した製品が量産され、世に出ることです。そのためにも、日頃から他部署との連携を大切にしていきたいと思います。努力がカタチとして残り、多くのユーザーに喜んでもらう姿を想像するとワクワクしますね。就活中の皆さんも、自分が何をやりたいのかを明確にして、自分に合った会社・仕事を見つけてください。



【2016年入社 / R&D本部 製品開発Gr】

安藤 司

TSUKASA ANDO

- ・山形大学 工学部 機能高分子工学科卒
- ・富山県出身

私の仕事

社会環境のニーズに基づいた機能開発に携わっています。具体的には、ドアトリムの部品に多くの機能を持たせるような製品を、情報収集、試作、評価を行いながら開発しています。



【2016年入社 / 設計部 設計Gr】

小林 保晴

YASUHARU KOBAYASHI

- ・広島工業大学 工学部 機械システム工学科卒
- ・広島県出身

私の仕事

マツダ車の量産車種を担当。量産体制に入った後に発生した不具合や要望などに対応しています。また、量産途中でラインナップが増えた場合の対策の検討や立ち上げなどにも対応。決まった作業はほとんどなく、毎回まったく異なった作業になります。

好きな自動車関係の設計に毎日携われて楽しいですね。

就活した10社の中の1社が今の会社です。自分の中で、会社選びの譲れない条件として掲げていたのが「自動車関係の設計に携われること」でした。面接を受けた際、面接官から「設計の部署が空いているから、来たらいいよ」と明確に言ってもらえたので、設計部に配属してもらえると信じ、入社したいと思いました。その時すでに東京の企業に内定をもらっていましたが、根底にはやはり地元広島で働きたいという思いがあったからです。ずっとやりたかった仕事ではあったものの、入社して間もない頃は右も左も分からないような状態。疑問を抱え込んだまま仕事を進めてしまい、設計の納期に間に合わなくなったことがありました。その時は先輩が協力してくれて遅れの期間を縮めることができましたが、「ハウ(報告)レン(連絡)ソウ(相談)」の大切さを、身をもって体験した瞬間でした。自動車業界はスピード感があり、常に納期に追われています。予想できない壁にぶつかることも多々あります。それだけにいろいろな課題にチャレンジできてやりがいがありますし、自分には向いている仕事だと思っています。今後の目標は、グループ内でもっと頼られる存在になること。面接時に感じた「この会社に入りたい」という思いに支えられ、常に全力で業務を遂行できることに感謝、感謝! とにかく、毎日が充実していて楽しいですよ。

私の「見たい、行きたい」が業務遂行の原動力です。

今の会社は多くの先輩が就職していて、大学内では有名でした。就活では、あえて先に一次面接を受け、内容をある程度把握したうえでOGを訪問し、本気度をアピールしました。その際、先輩方が産休や育休を経て職場に復帰されていることを聞き、長く勤めたいという希望が叶えられると意を強くしました。仕事はコスト目標をクリアするのが大変ですが、量産が始まったときはすごくうれしいですね。1つの車種が終わるとすぐに次期車種の開発に向けて発注先の選定が始まり、充実した毎日です。購買本部では、毎日のように何かしらトラブルが起きます。入社1年目でのこと。ポケット音止めテープ貼りのコストを精査する際、他部署と協力しながら仕事をする事の大切さを学びました。入社して一番よかったと思うのは「ここを見たい、ここへ行ってみよう」と要望すると、上司が背中を押してくれることですね。取引先の調査を目的にした国内外への出張は、いい刺激にもなっています。今後の目標は、価格の精査能力の向上や、後輩に仕事を分かりやすく教えられるように伝達力を磨くことです。この仕事に学歴は関係ありません。入社してから頑張ればいいのです。ハンタリー精神を持ち、根気強く努力し続けさえすれば、着実に成長していけますよ。



【2015年入社 / 購買本部 調達Gr】

山根 彩綾

AYA YAMANE

- ・安田女子大学 現代ビジネス学部 現代ビジネス学科卒
- ・広島県出身

私の仕事

バイヤーとしての業務に従事。部品および材料の見積りの依頼やコストの精査、発注先の選定、コスト資料の作成など多岐に及びます。社内会議では購買本部を代表して、購入単価決定の経緯や理由を報告するなど、入社1年目から重要な役目を任されています。



熱意で会社訪問につなげ、活躍の場をつかみました。

大学では、ロボットの制御から設計までを学びました。今の会社を知ったのは、大学に寄せられた企業の求人案内でした。ところが、知った時にはすでに会社説明会が終了していたのです。履歴書の提出期限も過ぎていましたが、お願いして本社や工場を見学させてもらいました。その際、他社にはない技術力を持ち、新事業への挑戦意欲が旺盛であることに将来性を感じ、ぜひとも入社したいと思いました。入社して初めて携わったのが、マツダCX5の立ち上げです。このとき感じた高揚感は、今でもよく覚えています。振り返ると、垂直立ち上げを実現したことや、導入した設備が動作不良で造り替えに至ったことなど成功と失敗の繰り返しでした。そうした経験を積み重ねながら成長できたのは、職場が困り事や悩み事を相談しやすい雰囲気であるからこそと感謝しています。今後の目標は、無理・無駄のない究極の組立ラインを構築してマニュアル化し、世代が交代しても活用できるようにすることです。就活中の皆さん、自身がやりたい仕事、面白いと思える仕事を見つけてください。諦めなければ、自分にふさわしい会社が見つかると思います。また、就活は自分を見つめ直す良い機会です。もしかしたら、思いもしなかった分野で成功を収めることができるかもしれませんね。



【2014年入社 / 生産技術部 組立技術Gr】

岩井 悠司

YUJI IWAI

- ・近畿大学 工学部 知能機械工学科卒
- ・山口県出身

私の仕事

新規車種の組立ラインの工程設計に携わっています。量産までの開発スケジュールの進捗状況を確認し、遅れや問題点をチーム内でさまざまな角度から検討。時間はかかりますが、新たな組立ラインの構築に力を注いでいます。

会社概要

会社名	南条装備工業株式会社
所在地	〒732-0806 広島市南区西荒神町1-8 テリハ広島5F
TEL	082-568-0150
FAX	082-568-0111
E-Mail	saiyo@nanjo.co.jp
代表者	山口 雄司
資本金	1億円
従業員	1027名(2017年12月末現在)
創立	1965年2月(昭和40年2月)
主要取引先	マツダ株式会社、株式会社東洋シート、トヨタ紡織株式会社
売上高	301億円(2017年度)
事業内容	自動車内装部品の開発、生産、販売
取引銀行	三井住友銀行、広島銀行、広島信用金庫

会社沿革

1915年02月	南條商会として創業
1950年07月	(株)南條幌内張製作所に組織変更
1960年04月	東洋工業(株)【現マツダ(株)】より協力会社として指定を受ける
1964年12月	長東工場を新設
1965年02月	(株)南條幌内張製作所から独立し、南条装備工業株式会社を設立
1967年07月	広島県安芸高田市八千代町に八千代工場を新設
1982年04月	山口県防府市に防府工場を新設
1991年08月	防府工場増設
1991年10月	山口県山口市に山口工場を新設
1998年08月	合併でフィリピンFord向け内装品製造、販売会社AIC(現Toyo Seat Philippines Corporation)を設立
2000年08月	ISO9001及びQS-9000認証取得
2001年12月	ISO14001認証取得
2005年04月	合併で中国広州市に広州南条全興汽车零部件有限公司を設立
2006年07月	ISO/TS16949:2002認証取得
2010年03月	合併で中国南京市に南京南条全興汽車内飾系統有限公司を設立
2012年08月	本社が広島市南区に移転
2012年09月	長東工場を山口工場へ統合
2013年03月	合併でメキシコ サンルイス・ポトシ州にMNAI(MIDORI NANJO AUTO INTERIOR S.A de C.V.)を設立
2014年03月	広島県安芸高田市八千代町にNGIC(Nanjo Global Innovation Center)を新設
2015年02月	創業100周年、設立50周年を迎える
2016年09月	八千代第二工場を新設

福利厚生

健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険、退職金制度、永年勤続表彰、リフレッシュ休暇制度
育児/介護休業制度、労使共催行事、フレックスタイム制度、財形貯蓄制度、再雇用制度、積立有給休暇制度

さあ、もっと乗りたい空間へ。

NANJO



南条装備工業株式会社
NANJO Auto Interior Co., Ltd.

広島市南区西荒神町1-8 テリハ広島5F
TEL.082-568-0150

リクナビでエントリー受付中